治癒的遊びワークショップ



治癒的遊びワークショップとは

プレイセラピーの理論や技法に基づき、遊びを通して子どもに治癒的に

関わる方法を学ぶワークショップです。治癒的な遊びはプレイセラピーとは違い、困っている子どもにも、そうでない子どもにも用いることができ、子どものことを大切に思う大人であれば、どなたでも行うことができます。治癒的な遊びは、次のような目的にも用いることができます。

1

怖い体験や混乱する状況を体験した子どもに 安定をもたらすため 2

不安や怒りを感じている子どもを落ち着かせるため

3

子どもと大人の関係を 強いものにするため 4

発達年齢に適した成長 を促すため

日時: 2020年11月29日(日) 13:00- 1時間程度

※両日ご参加ください。

講座の特徴1

講座の特徴2

きます。

治癒的遊びは専門的な治療ではありません。家庭や学校、保育園・幼稚園など子ども達の生活場面で子どもをサポートするために使うものです

講義だけでなく、治癒的 な遊びを体験しながら学 ぶワークショップです。 知識だけでなく体験を通 じて楽しく学ぶことがで

2020年12月13日(日) 10:30-15:15 (途中、75分のお昼休憩あり)

※双方向的な講座のため参加者も画像・音声ONで行います。全身を使うアクティビティを行いますので動きやすい服装でご参加ください。

会場:zoomを用いてオンラインで開催いたします。参加者には後日ご連絡いたします。

対象:子どもと関わる仕事をしている方(保育、医療、福祉、教育、心理など)、または子どもの

心のサポートに関心のある大人ならどなたでも。

定員:50名 最少催行人数31名(人数に満たず中止する場合は全額ご返金致します)

参加費:5000円 *定員になり次第、締め切らせていただきます。

申し込み締切:2020年11月14日(金) お早めの申し込みをお勧めいたします。

*GoogleFormsでのお申込となります。 下記URLかQRコードからリンクに アクセスし必要事項をご記入ください。 URL:



https://forms.gle/ysogM89hDAcVxv2y7

*ご不明な点は、日本プレイセラピー協会までメールで ご連絡ください(info.japt.playtherapy@gmail.com)

*入金の確認をもって正式な受理といたします。



オンライン開催にあたっての注意事項

1. 環境の準備について

- ・安定した通信環境と、PCもしくはタブレットをご用意ください。スマートフォンは推奨致しません。 また、<u>録画や録音は著作権侵害となります。絶対にしないようお願いいたします。</u>
- ・守秘義務の守られる静かな個室でご参加ください。家族や他の人に入室しないようお伝えください。
- ・Zoomの基本的な使い方は<u>こちらのファイル</u>(引用元URL <u>https://mizumasa.com/zoommanual/</u>)などを参考に、各自で事前にご準備ください。
- ・ご自身の通信環境や機材の関係で講座が中断した際も返金には応じられませんのでご了承ください。 2日間両日の参加が求められますが、1日目に技術的な不都合が生じた際には2日目の講座までに修正を試み ていただくようお願いいたします。

2. ご自身のケアについて

・オンラインでのご参加は、通常の対面での講座よりも集中とコミットメントが必要となります。 適宜、休憩を取りつつ普段以上にご自身の疲労に十分ご留意ください。

講師紹介

大野木嗣子先生

臨床心理学博士(Psy.D.)。現在、東京都で開業。日本プレイセラピー協会の共同創立者・理事。母校の大学・大学院で客員講師や教員、複数の心理臨床団体で理事や顧問を歴任、母校のインターナショナルスクール(中学校)にてスクールカウンセラーを務める。子ども、家族、子育て支援、トラウマや多文化問題を専門とし、臨床治療や講演会などを実施。2008年スマトラ沖地震による



津波災害時にOperation USA と米国プレイセラピー協会の下で直接心理的な支援活動を行い、2011年の東日本大震災では日本ユニセフ協会と協同で日本プレイセラピー協会が災害支援を行っている。日本語・英語でプレイセラピーに関する著書を複数出版。

主な著作:大野木嗣子著『はじめてのプレイセラピー:効果的な支援のための基礎と技法』(誠信書房、2019) Charles,Shaefer, Akiko Ohnogi, et al.(2011), *Play Therapy for Very Young Children*, Jason Aronson.